

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
舞踊 I											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	花ノ本 寿、花ノ本 寿美佳			実務 経験	有	職種	舞踊家				
授業概要											
日本舞踊を通じて和装の着付けから所作、礼儀作法を学びます。											
到達目標											
全身を使って、立役・女形の両方を稽古することで、それぞれの表現方法の違いを見出し、色々な役柄に対応する力を身につける。浴衣の着付けが美しくそして早くできるようになり、浴衣で色々な動作をしても着崩れにくい方法を習得し、また着崩れてもすぐに直せるようになる。日本の伝統的な舞踊を学び、そこから知識と教養を高める。											
授業方法											
まず礼儀作法をきちんとし、礼に始まり礼に終わるという武道からくる日本の精神を知る。浴衣の着付けを丁寧にやる。扇子の扱い方、見立て（扇子で具体的な色々なものを表現する）を学び、舞踊の中にもそれを活かす。男踊りと女踊りの両方を稽古する。その際に自分が踊るだけでなく、学生同士お互いの踊りと注意された箇所を修正する様子を見て、切磋琢磨していく。歌舞伎舞踊の独特の科白（せりふ）も勉強する。											
成績評価方法											
礼儀作法、着付け、踊りなどすべてを総合的に評価する。											
履修上の注意											
この授業独特の挨拶の仕方、出席を取るときの約束、荷物の置き方、休憩中の過ごし方、アクセサリ等を外す、などの設定されたルールをきちんと守ることを励行する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業計画は浴衣の仕立て上がりや扇子の完成時期により、一部流動的になる。											
教科書教材											
浴衣一式、扇子、手ぬぐい											
回数	授業計画										
第1回	日本舞踊について・各種説明										
第2回	基本動作・舞踊稽古										
第3回	基本動作・舞踊稽古										

舞踊 I

第4回	基本動作・舞踊稽古・扇子の扱い
第5回	舞踊稽古・扇子の扱い・浴衣着付け
第6回	舞踊稽古・扇子の扱い・浴衣着付け
第7回	舞踊稽古・扇子の扱い・浴衣着付け
第8回	舞踊稽古・浴衣着付け
第9回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第10回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第11回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第12回	舞踊稽古・科白（せりふ）
第13回	全ての課程の復習
第14回	全ての課程の総仕上げ
第15回	前期試験